

# 「今日の学びを、明日の力に」 — 七条中学校 家庭学習リーフレット —

1. はじめに
2. 自学自習を通して目指す学びの姿
3. 本校における自学自習についての方針  
七条中学校の自学自習の考え方  
自学自習で大切にしたいこと  
保護者のみなさまへのお願い
4. 学年ごとの目標や学習内容など  
中学校1～2年生  
中学校3年生

## 1. はじめに

これからの社会では、答えのない様々な課題に向き合い、自ら考え、学び続ける力がますます大切になります。このリーフレットは学校教育目標である

### 自律・探究・貢献

を軸に、学校での学びと家庭での学びを、やさしくつなぐためのものです。自学自習は、特別なことをする学習ではありません。「自分で考え、やってみて、ふり返る」そんな日々の積み重ねです。中学生の今だからこそ身に付けたい学び方を、生徒・保護者の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

- ① 自分で考え
- ② 自分で決定し
- ③ 自分で振り返り、成長する

この3つを大切にするのが「自学自習」です。1つの答えを与えられる学びから一歩進み、自分の学びを自分でつくる経験を重ねることで、これからの時代を生きる力が育っていきます。

このリーフレットは、年度当初に学校の考え方をご家庭と共有するために作成しました。ぜひ、お子さまとの対話のきっかけとしてご活用ください。

## 2. 自学自習を通して目指す学びの姿

①「見通し」⇒②「実行」⇒③「振り返り」の  
サイクルで自分の学びを回せる生徒が  
「自ら学ぶ生徒」＝「自律した学習者」

●見通し＝【自律】のスタート

「何を?」「なぜ?」  
「どこまで?」

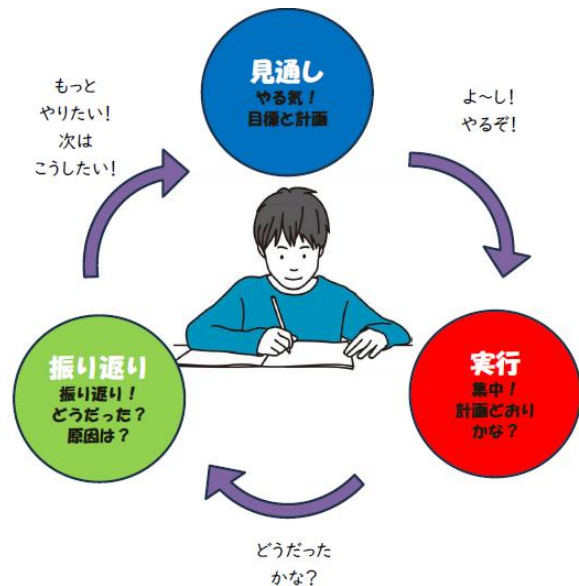
●実行＝【探究】の時間

「なぜ?」「どうして?」  
「他の方法は?」

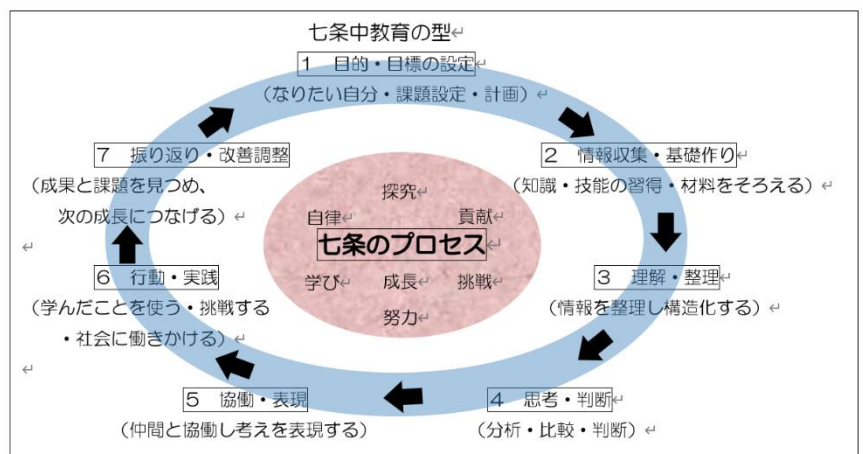
●振り返り＝【自律】を深め、

【貢献】つながる

「何ができた?」「どこでつまづいた?」「次はどうする?」



さらにもう一歩  
踏み込んで、  
七条中教育の型  
**七条のプロセス**  
への挑戦!



～見通しを立てて、考えて行動し、

振り返って「次に生かす力」を育てます～

### 3. 七条中の自学自習についての方針

#### ◆七条中学校の自学自習の考え方

本校では、家庭学習を「やらされる宿題」ではなく「自分のために行う学び」として位置付けています。自分の興味や授業での気づきをもとに、学ぶ内容や進め方を考え、振り返りながら次の学びにつなげることを大切にしています。家庭学習を通して主体的に学び続ける力を育てていきます。

- ・授業とつながる予習・復習
- ・興味・関心を生かした探究的な学び
- ・計画 → 実行 → 振り返りの習慣化
- ・デジタルドリルや GIGA 端末の効果的な活用

#### ◆自学自習で大切にしたいこと

- 自分が興味・関心のある物事について、調べてみましょう。探究的な学びに取り組みましょう。
- 自分で学習の計画を立て、主体的に学びを進めましょう。
- スマートフォン・ゲーム等の使用時間に注意しましょう。
- 読書を通して、新しい知識、いろいろな感じ方、ものの見方、考え方に触れ、豊かな人間性を育てましょう。



楽しい学びは、知りたい気持ちから

～自分の学びは自分でつくろう～

## ◆保護者のみなさまへのお願い

- 学んだことを話す機会を大切にしてください。  
「今日の授業で面白かったことは?」「学校で学んだことを教えて?」  
学びをことばにする声かけをお願いします。
- 学習に集中できる環境づくりを心がけてください。  
テレビやスマートフォンとの付き合い方、机のまわりの環境など、学習に向かいやすい雰囲気づくりを大切にしてください。
- 結果よりも、取り組む様子を認めてください。  
「できた・できなかった」ことだけでなく、考えようとしたことや努力したことに目を向けていただけると励みになります。
- 「やらされる勉強」になりすぎないように見守ってください。  
声かけや関わりはしつつ、最終的には自分で考え、自分で決める学びを大切にしたいと考えています。

## 4. 学年ごとの目標や学習内容など

### ◆中学校1~2年生



#### 学習内容の特色

中学校では、各教科でより専門的な内容を学んでいきます。内容が難しくなり、量が増えていきます。小学校で身に付けた自学自習のポイントに加えて、自分自身で計画を立て、学習方法や内容を工夫し、何をするか自分で考え、実行できる力が求められます。また、自分が関心のあることをさらに探究し、学びを深めていきましょう。



#### 自学自習のポイント!

自分で設定した学習を、いつどのように取り組むのが肝心です。自分に必要な学習に気付き、自分で計画的に行う学習は、誰かに指示されてする学習より、何倍も効果があります!

① なりたい自分になるための進路について考えよう!

テストや学習確認プログラムの結果を自分で分析して、自分の弱みや強みなど、自分の状況を把握し、今やるべき学習（課題やテスト勉強等）の計画を立てましょう。興味・関心のある学習（探究的な学び）に取り組む時間を設定しましょう。

② 予習で工夫を!復習に重点を!

教科書は、授業の前日に読んでおきましょう。どのような学習をするのかを知っておくと、授業に臨む姿勢も自ずと変わるはず。また、あらかじめ自分で調べたり考えたりして、授業に臨めば、学習内容の理解がさらに深まります。

その日のうちに、教科書やノート、プリントを使って、学習のポイントを整理しましょう。授業支援ソフトやデジタルドリルを活用すると、効果的に学習を進めたり、学習の足跡を残したりすることができます。

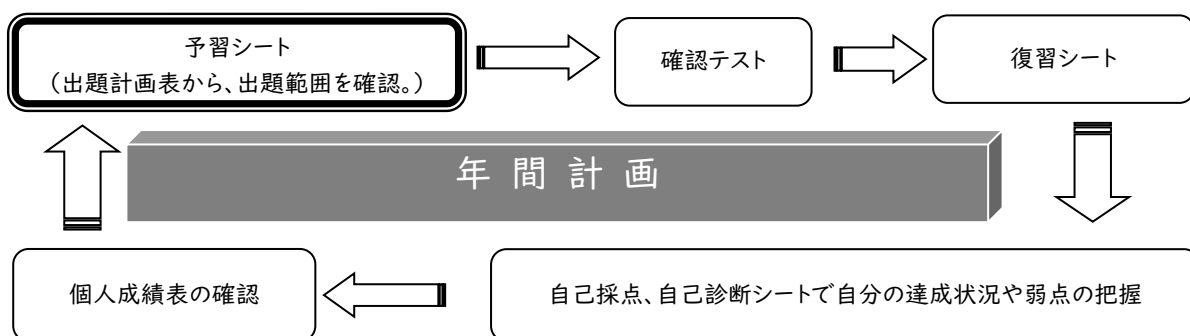
③ ノートの有効利用を!

自分の学びを深めるために、ノートづくりを工夫しましょう。例えば、復習や見直しのために、学校での学習は左ページに、自分でまとめたり付け加えたものは右ページに書くなどの工夫があれば、あとから振り返ることができます。

<「学習確認プログラム」でステップアップ!>

- 中学校1年生から、「学習確認プログラム（京都市小中一貫学習支援プログラム）」となります。学習計画に沿って復習し、確認テストで学習成果をチェックしましょう。指摘された学習のポイントは繰り返し勉強しましょう。

《実施サイクル》 学習確認プログラム



## ◆中学校3年生

---



### 学習内容の特色

- 3年生の授業の予習・復習と1・2年生の内容の復習の両方を進めていくことが大切です。
- 授業支援ソフトやデジタルドリル等には、これまでの学習の足跡が残っています。自分の得意・不得意を把握して復習をするときに活用しましょう。



### 自学自習のポイント!

- 興味・関心のある学習(探究的な学び)に取り組む時間を設定しましょう。
- 学習確認プログラムの3年間の「復習シート」を活用して、中学校の総復習をしましょう。

<卒業後をイメージして、スケジュール管理を!>

- 進路相談で話したことをもとに、受験日から逆算して、復習に重点を置く期間、進路対策に重点をおく期間などを、大まかに設定しましょう。将来にわたって、スケジュール管理ができるようになっておくといいですね。
- テストや学習確認プログラムなど、いつ、何があるのかをカレンダーに書き込んでおきましょう。
- テスト勉強や進路対策の勉強を、いつどのようにするのか計画を立て、自分でスケジュールを管理しましょう。
- 自分で主体的に学習することが、進路や卒業後の姿を変えていきます。

<夏休み>

- 1・2年生までの総復習を、集中して行う絶好の機会です。自分で学習計画を立てて復習等に取り組みましょう。与えられた課題だけでなく、自分にとって必要な学習を進めましょう。
- 夏休みの時間を有効に使って、気持ちを切り替えて計画的な勉強に一層力を入れましょう。
- 規則正しい生活リズムが、学習効果を生みます。十分な睡眠・バランスの良い食事・適度な運動を取入れ体調管理に努めましょう。

### <冬休み>

●進路希望が明確になります。これまで学んだ内容の総復習をしましょう。出題傾向を調べるなど、対策問題などにも挑戦しましょう。

### ●高等学校、将来に向けて

高校では、将来の進路選択に向け、長期的な学習計画を立てて、取り組むことが求められます。また将来、社会や仕事では、未知の課題に対応するために、既存の知識を柔軟に応用する力が不可欠です。小学校と中学校で学んだことを使って、より発展的に考える力が重要となります。